

世界に誇れる日本の食体験を発信！ 「食かけるプロジェクト」募集、はじまる。



日本各地の、深い食体験を、どんどん世界へ！
食×○○から生まれた日本の食体験を集め、
世界を駆ける食事業として発信、販売する活動、
「食かけるプロジェクト」の募集がスタート！
同時に、素晴らしい食体験を表彰する「食かける
プライズ」を開催します！

食×エンタメ、食×アート、食×スポーツ、食×テクノロジー、食×歴史。日本には、単に「食べる」だけ
じゃなく、食を通じて、出会い、知り、深く共感できるような「食体験」がたくさんあります。「食かける
プロジェクト」は、それら日本中の食体験・食ビジネスを集め、発信し、広める活動です。そしてこの度、
プロジェクトスタートを機に、集まった事例から素晴らしいアイデアを選ぶ「食かけるプライズ」を開催！
選ばれたアイデアは、情報発信し、世界への販売ルートも拡大します！さあ、あなたやあなたの周りにある
素晴らしい食体験・食事業をぜひ応募してください。小さなアイデアでも、ちょっと変わった体験でもいい
んです。近い未来、世界を駆けめぐるような日本の食ビジネスは、あなたの応募から始まります。

1 食かけるプライズ 応募期間

2019年6月11日（火）～2019年8月4日（日）

2 賞

- ・食かける大賞（1社）
- ・食かける賞（10社程度）
- ・ネクストブレイク賞（これから羽ばたく可能性のある食体験へ贈る賞）（3社程度）
- ・DREAM賞（大学生や高校生によるフレッシュなアイデアへ贈る賞）（3チーム程度）

3 受賞メリット（副賞）

受賞した「食体験」には以下の副賞を予定しています（受賞した賞の種類及び体験事例の内容によつては、該当しないものもあります。）。

- 1)東京都内で実施する表彰式や関係者向け交流会へご招待
- 2)訪日前・訪日中の外国人へ向けた情報発信
- 3)トリップアドバイザーなど予約可能な販売サイトへの掲載
- 4)体験コンテンツの動画制作（1分程度/本）
- 5)商品化するための専門家の派遣・メンタリングの開催

4 募集対象

これまでに食体験を商品化（販売）又はファムトリップ等で提供したことがある食体験を実施している
事業者、高校生や大学生の皆さん

5 応募方法

スマートフォン及びPCから公式サイトにある所定の「専用応募フォーム」に記入して応募ください。
(<https://www.eatmeetjapan.jp>)

- 写真 及び動画（1分迄）
- 表題（20文字）と50文字以上～200文字までの体験事例の説明
- コンタクト情報 会社名 又は団体名/担当者名/住所/電話番号/メールアドレス

6 選考基準と選考方法

▶選考基準

- 1)「食×○○」と説明できるような食と何かが絡んだ体験事例であるか？
- 2) 訪日観光客が体験したくなる魅力のある内容であるか？
- 3) 日本食の食文化が世界へ効果的に伝えられる内容であるか？

▶選考方法

応募のあった体験事例から上記基準により選考します。

選考にあたり、事務局による1次審査を通過された方は、審査委員による2次審査があります。1次審査を通過された方には事務局からご連絡します。

これまでに商品化（販売）又はファムトリップ等で提供したことがある食体験から選ばれる3賞（食かける大賞、食かける賞、ネクストブレイク賞）と高校・大学生のフレッシュなアイデアを選ぶ1賞（ドリーム賞）を合わせて20件程度を選定します。

7 スケジュール

募集期間 2019年6月11日（火）～2019年8月4日（日）

審査期間 2019年8月5日（月）～2019年9月10日（火）

結果発表 2019年9月中旬

※結果発表は応募サイトに掲載します。

8 応募に当たっての留意事項

- 応募された体験事例のうち写真、動画及び体験事例の説明は応募サイトから不特定多数の方が閲覧可能になることをご了承ください。
- 応募内容が事業趣旨を逸脱すると事務局が判断した場合は応募内容を削除します。
- 応募内容に事実と異なる内容が含まれていると事務局が判断した場合は選考外とします。

主催・お問合せ先

主催：農林水産省
お問合せ先：食かけるプロジェクト事務局
E-Mail : info@eatmeetjapan.jp TEL : 050-3803-9619
(開局時間：平日/10:00～18:00)

「食かけるプロジェクト」 (イメージ)

基本コンセプト

訪日外国人の目線に立った、食が絡んだ多様な体験の提供や新たな価値を創造・発信するための枠組みを構築する。

- 食・駆ける
- ・インバウンドの滞在中の多様な体験に「食」を組み込ませる。
(訪日外国人の68%が訪日前の期待として「日本食を食べること」と回答→32%は、日本食が最大の関心事ではない。)
 - ・世界中で日本の食材が手に入るようにする (帰国した訪日外国人が日本での食の体験を再度味わえるようにする。)
⇒日本産農林水産物・食品が海外で一層消費される環境整備を進め、我が国食品産業等による輸出及び海外投資を促進 (我が国食品産業等及びその原料供給源である農山漁村の販路の拡大につながる。)

食× ・食と別の分野 (たとえば旅、映像、歴史) を融合させることにより新しい発信手法や日本ならではの価値創造を誘発する。

